



第1回 The 1st Kyushu Occupational Therapy Congress

九州作業療法学会

Stay Gold

～作業療法士が描く未来予想図 for 2025～



プログラム・学会誌

会期 2019年 6月22日(土)・23日(日)

会場 北九州国際会議場

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

学会長 濱本 孝弘 社会福祉法人慈愛会 医療福祉センター聖ヨゼフ園



The 1st Kyushu Occupational Therapy Congress

第1回九州作業療法学会

｜プログラム・学会誌｜

Stay Gold

～作業療法士が描く未来予想図 for 2025～

会期 2019年6月22日(土)・23日(日)

会場 北九州国際会議場
〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

学会長 濱本 孝弘 社会福祉法人慈愛会
医療福祉センター聖ヨゼフ園

副学会長 竹中 祐二 麻生リハビリテーション大学校

実行委員長 有久 勝彦 国際医療福祉大学

共催：北九州市

協賛：公益財団法人 北九州観光コンベンション協会

学会事務局

公益社団法人 福岡県作業療法協会事務所

〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF 第2ビル101号

TEL: 093-952-7587 FAX: 093-953-6287

E-mail: fuku-ota@fancy.ocn.ne.jp

INDEX

| | |
|----------------------|----|
| 学会長挨拶 | 1 |
| 祝 辞 | 2 |
| 会場アクセス | 3 |
| 会場案内 | 4 |
| 参加者の皆さまへ | 5 |
| 座長の皆さまへ | 8 |
| 発表者の皆さまへ | 8 |
| 優秀演題の表彰について | 10 |
| 九州作業療法士会会長会 MTDLP 企画 | 11 |
| ライブペイントのご案内 | 12 |
| 作業療法学生プレゼン企画 | 13 |
| 日 程 表 | 14 |
| プログラム | 16 |
| 抄 録 | |
| 学術講演 | 20 |
| 基調講演 | 22 |
| 教育講演 1～3 | 24 |
| シンポジウム | 30 |
| モーニングセミナー 1・2 | 32 |
| ランチョンセミナー 1・2 | 36 |
| 市民公開講座 | 40 |
| 一般演題プログラム | 44 |
| 第1回九州作業療法学会 組織図 | 55 |
| 協賛・広告企業一覧 | 56 |
| 後援一覧 | 57 |
| 編集後記 | 58 |
| 次期開催予定 | 59 |

オンライン版抄録集について

抄録は学会ホームページの抄録集よりダウンロードが可能になっております。

ダウンロードに関するの詳細は、ホームページからのダウンロード時に説明文がございますので、ご確認をお願い致します。



抄録集
・ダウンロードアドレス
<http://kyuot1.umin.jp/program.html>

学会長挨拶

第1回九州作業療法学会

学会長 濱本 孝弘

(社会福祉法人慈愛会
医療福祉センター聖ヨゼフ園)



本学会のテーマ“Stay Gold”は、私たちが支援する人々に“輝き続ける”“いつまでも輝いていて”というメッセージを込めました。

私たち作業療法士は、運動機能に障がいを抱えている方、精神的な支援を必要とされている方、急性期で混乱されている方、回復を目指して頑張っておられる方、病気としての状態が安定されている方など状態や病期に応じて支援しています。また、発達期に障がいを抱えた児の場合は、その特性を抱えながらも親子の絆を深めたり、幼稚園や学校での課題や役割を遂行できるよう工夫したり、受験や就労へのチャレンジを応援しています。年を重ね老いや介護と向き合っている方、運動機能や認知機能、社会的役割を失ういわゆる喪失体験をされている方、認知症の方の理解やそのご家族へのフォローを展開しています。そんな作業療法の対象者お一人おひとりが、それぞれの課題を抱えながらも各々のライフステージで“輝き続ける”ことを応援したい。そんな想いをテーマに込め学会を企画しました。

対象者が輝くためには、対象者の思いを実現することになります。実現するのは容易ではありません。そもそも対象者自身でもよくわからないことが多いのです。言葉にできる方であればまだヒントをもらえますが、失語症や重症心身障がい、認知症、自閉症スペクトラム、双極性障がい等々言葉にできないばかりか、言葉が思いの伝達を阻害することも多くあります。そのような中で私たち作業療法士は、対象者の作業・活動の様子から推論をたて、共感し、思いに重なることを通じて、対象者が何を大切にしてきたのか、何に心を惹かれているのかを感じ取ってきました。

作業療法士が国家資格になって50年が過ぎました。この50年の様々な対象者の思いとそれを実現しようとしてきた先人たちの知恵と工夫とスキル、これがこれから迎える生産人口減少社会の課題解決につながると考えています。今まで支えられる側だった方が支える側になる。年を重ねようが、障がいを持つとうが持つまいが、“自分のなりたい自分になる”基盤があってこそ一億総活躍社会だと考えます。そのためには、一人ひとりにどんなサポートが必要かを明確にすることが重要です。私たち作業療法士は、今まで対象者から教えられ、蓄積してきた作業療法で、対象者の“Stay Gold”に挑戦したいと考えています。

そういった思いをこめてここに記念すべき第1回九州作業療法学会を開催いたします。

祝 辞

人々の健康と幸福を促進するために —第1回九州作業療法学会の開催に寄せて—



一般社団法人 日本作業療法士協会
会 長 中村 春基

記念すべき第一回目の九州作業療法学会の開催にあたり心からお祝いを申し上げます。また、濱本孝弘学会長をはじめ、これまで九州の作業療法士会を盛り立ててこられた歴代会長ならびに会員の皆様の取り組みに心から敬意を表します。

昨年に1981年(昭和56年)から九州の理学療法士、作業療法士の有志が集い開催してこられた合同学会が未来に向けて幕を下ろしました。そのバトンをひきついで九州作業療法学会において、わが国の作業療法士が直面している幾つかの重要な課題を皆様と共有することで、九州に暮らす市民の皆様の健康と幸福が促進される一助となれば幸いです。

既にご承知のように2018年5月の定時社員総会において、協会としての「作業療法の定義」を33年ぶりに改定し、作業療法の目指すものを「健康と幸福」の促進と規定しました。この「健康と幸福」について、患者(利用者)の視点から考えるために、ある会員からの手紙を紹介したいと思います。その会員の方は、永年作業療法士として臨床業務に従事し、10年ほど前に体調を崩し勤務もままならない時期を経て退職されましたが、最近は家事や掃除、買い物などの普通の生活を送ることができるようになり、「作業」のある生活の大切さを再認識されたそうです。そして、協会の定義について「健康と幸福、なんと素敵な言葉でしょう、大変勇気づけられました」と結んでおられました。改めて、「人は作業を行うことで健康になれる」とはどういうことか、その意味の奥行きについて考え、共有できればと思います。

2025年を目途に構築が進められている地域包括ケアシステムに向けて、いかに多く、いかに質の高い人材と技能を提供できるか、という点が重要です。この地域包括ケアシステムへの寄与は、作業療法士にとって喫緊の課題であり、九州各県の作業療法士会にとっても最重要課題になっているものと認識しております。それを踏まえ、協会の活動内容を紹介し、2025年、2040年問題への対応について再確認をしたいと思います。

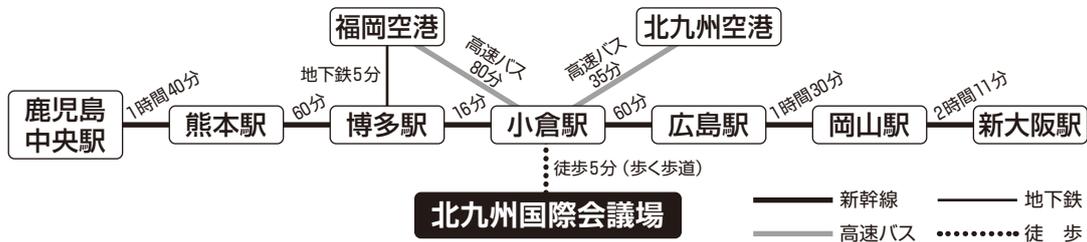
人材の育成に関しては、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の一部が改正され2019年4月1日から施行されます。この省令に対応するために、協会は「作業療法教育ガイドライン」および「作業療法臨床実習指針」の改定と周知を図り、学校養成施設との連携を強化し、教員および臨床教育指導者の研修を推進してまいります。臨床実習指導のあり方が大幅に変わりますので、それらについて協会の基本方針をご紹介します、加えて養成教育のあり方について共有したいと思います。

会員一人一人は国民の財産であり宝です。その宝が光り輝けば日本の未来も明るくなります。それほどの価値が一人一人の作業療法士にはあると考えています。九州の作業療法士が一堂に会し日頃の学術研究や社会貢献活動等を報告・討議される貴学会が、九州の作業療法の更なる発展の礎となりますことを心より祈念しております。

会場アクセス



会場アクセスのご案内



■ 電車でお越しの方

- JR小倉駅より 徒歩5分
※新幹線口から動く歩道で快適にご来場頂けます。

■ 車でお越しの方

- 国道199号沿い、北九州都市高速道路より
小倉駅北ランプより1分、足立ランプより8分

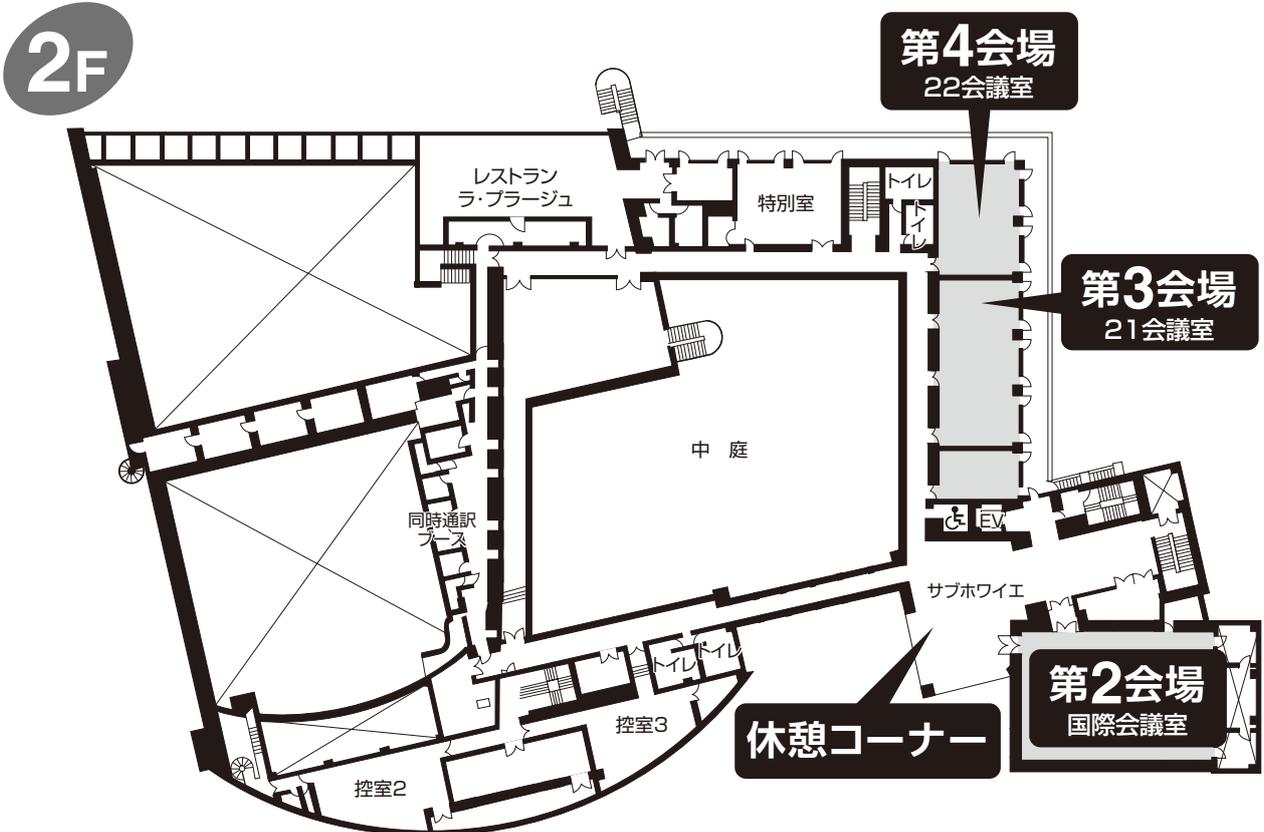
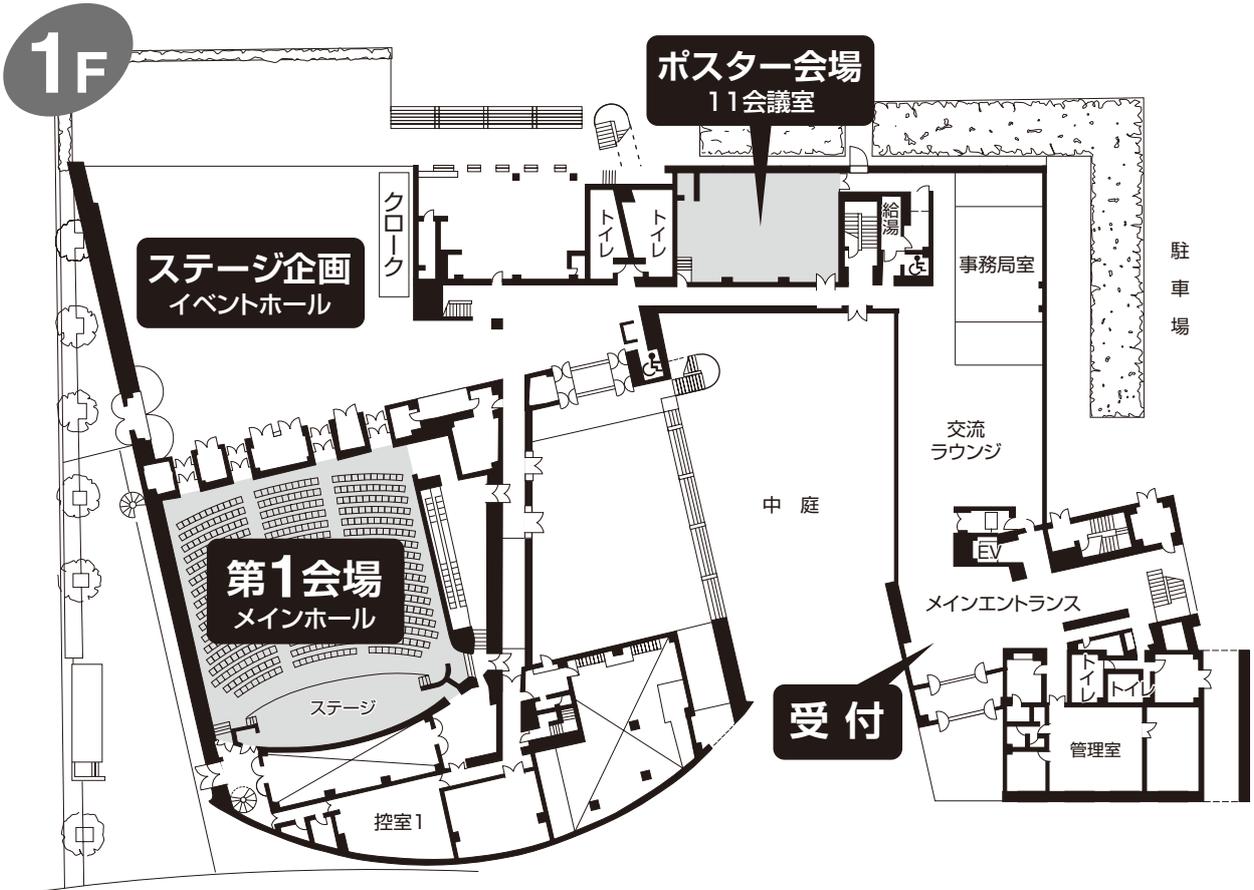
■ バスでお越しの方

- 小倉駅新幹線口バス停より徒歩5分
- 西鉄小倉駅バスセンターより徒歩8分

■ 飛行機でお越しの方

- 福岡空港より 地下鉄・新幹線で26分
- 北九州空港より 車で35分

会場案内



参加者の皆さまへ

1. 学会参加費について

(1) 作業療法士(○：加入 ×：未加入)

| 県協会 | 全国協会 | | 金額 | 1日参加 | 参加受付 |
|-----|------|------|------------------|------------------|-------|
| ○ | ○ | 九州県内 | 6,000円(当日7,000円) | 3,000円(当日4,000円) | 事前受付有 |
| | | 九州県外 | 7,000円 | | 当日のみ |
| × | ○ | 九州県内 | 12,000円 | | 当日のみ |
| | | 九州県外 | | | |
| ○ | × | 九州県内 | 6,000円(当日7,000円) | 3,000円(当日4,000円) | 事前受付有 |
| | | 九州県外 | 7,000円 | | 当日のみ |
| × | × | 九州内 | 20,000円 | | 当日のみ |
| | | 九州外 | | | |

(2) 他職種等の参加費

| | 金額 | 参加受付 |
|-----|--------|------|
| 他職種 | 7,000円 | 当日のみ |
| 一般 | 7,000円 | 当日のみ |
| 学生 | 1,000円 | 当日のみ |

- 会員証の提示がない方は非会員 OT として参加費をお支払いいただくことになります。
- 他職種の方は、所属する職能団体の会員証、または職種の判別できるものをご提示ください。
- 学生は OT 養成コース所属の方のみとし、受付で学生証をご提示ください。免許取得者の学生(学部生・大学院生)の方は、会員 OT としての参加費をお支払いください。

2. 学会参加受付について

【受付場所】 北九州国際会議場 1階 メインエントランスホール

【受付時間】 1日目：6月22日(土) 9:00～17:00

2日目：6月23日(日) 8:30～14:30

【受付方法】

〈事前申込の方〉

(1) 受付で必要なもの

① 会員証(「2019年度日本作業療法士協会会員証」および「各都道府県士会会員を証明できるもの」)

注) 日本作業療法士協会の会員ポータルサイト(<https://www.jaot.net/mm/portal>)から、ご自身の会員サイトにログインして、会員証を印刷してください。

② 参加登録完了メール

注) 事前申込を完了された方には、運営事務局より参加登録完了メールをお送りしております。

〈当日申込の方〉

(2) 受付で必要なもの

①参加申し込み用紙

ホームページよりダウンロードできます。

②参加費

注) お釣りのでないように準備をお願いします。

③会員証(「2019年度日本作業療法士協会会員証」および「各都道府県士会会員を証明できるもの」)

注) 日本作業療法士協会の会員ポータルサイト(<https://www.jaot.net/mm/portal>)から、ご自身の会員サイトにログインして、会員証を印刷してください。

④所属する職能団体の会員証または職種の判別できるもの(他職種の方のみ)

⑤学生証(学生の方のみ)

【注意事項】

- 協会年会費をお振込みでない方は、必ず、5月31日までにお支払いをお済ませください。会期直前に協会年会費をお振込みされた場合は、領収証(払込受付証明証)をご持参ください。
- ネームカードに施設名・氏名を記入し、会場内では必ず首から提げてください。
- 発行された学会参加ポイントシールの再発行はできませんので、紛失しないようにご注意ください。

3. 学会誌・抄録について

会場での印刷サービスは実施を致していません。各自学会ホームページから抄録のダウンロードをしてください。学会誌を別途お求めの方は、受付にて1,000円で販売致します。但し、在庫がなくなり次第、販売を終了します。

4. ランチョンセミナーについて

ランチョンセミナーのお弁当は両日とも150食を準備しております。

5. 会場内サービス

【クローク】

- 場 所：イベントホール
- 日 時：6月22日(土) 9:00～18:30
6月23日(日) 8:30～16:30
- 貴重品、雨具、壊れ物、食品類はお預かりできませんのでご了承ください。

【飲 食】

ランチョンセミナー会場(1日目：12:45～13:45、2日目：13:00～14:00)または1F イベントホール、2F サブホワイエの休憩コーナーをご利用ください。

【駐車場】

近隣の有料駐車場をご利用ください。

【呼び出し】

会場内での呼び出しは、緊急の場合のみとします。

【Wi-Fi 利用】

会場内にて Wi-Fi をご利用いただけます。Wi-Fi アクセスのための ID とパスワードは会場にてご案内いたします。

6. 禁止事項

【撮影および録音】

著作権保護・プライバシー保護などのため、許可なく会場内で録音または写真・ビデオ等を撮影することは禁止致します。ただし学会役員・スタッフは学会記録用として会場内で録音または撮影をする場合があります。

【携帯電話の使用】

講演会場内での携帯電話による通話は禁止します。会場内ではマナーモードに設定してください。

【喫煙】

館内は喫煙場所を除き禁煙です。喫煙は指定の場所をお願いいたします。

【飲食】

講演会場内はランチョンセミナーの時間以外に飲食はできません。1F イベントホール、2F サブホワイエの休憩コーナーをご利用ください。

7. レセプションについて

【日 時】 6月22日(土) 19:00～(18:30受付開始)

【会 場】 小倉飯店(北九州市小倉北区堺町1-8-14)
※事前参加登録で定員に達していない場合、
当日受付も行います。

【参加費】 事前：5,500円(当日6,000円)

【受 付】 学会会場内でも受付を行います。



8. 閉会式および優秀演題の表彰

閉会式にて、優秀演題の表彰を行います。多数の方にご参加いただきますよう、お願いいたします。

9. お問い合わせ先

学会期間中のお問い合わせ、およびご不明な点がございましたら総合案内(1F 玄関付近)へお越しください。また、主催者からのお知らせは掲示板にて行います。

座長の皆さまへ

- 1) 1階メインエントランスホールにて、参加受付を済ませた後に、座長受付を行ってください。
- 2) 開始10分前までに、ご担当会場にお越しください。
- 3) プログラムの進行に十分ご配慮いただきますよう宜しくお願いいたします。また発表の形式につきましては以下を参照していただき、円滑な進行となりますようご協力をお願いいたします。

発表者の皆さまへ

【利益相反の開示】

近年、多くの学会で利益相反 (Conflicts of Interest : COI) についての開示を義務づけるようになってきております。この状況に合わせ、第1回九州作業療法学会でも、演題発表時に、演題発表に関連する企業等とのCOIの有無および状態について申告することを以下に義務づけます。

〈学会発表における利益相反の掲示方法〉

- 口述発表は演題名の次(2枚目)のスライドで開示すること
- ポスター発表はポスターの最下部に開示すること

利益相反のスライド見本につきましては、以下学会ホームページよりダウンロードしてください。

- 利益相反の開示について
- 利益相反サンプルスライド

【口述発表】

1. 口述発表の環境・手続き

- 1) 映写面は各会場ともに1面です。
- 2) 会場で用意しているパソコンをご使用いただきます。パソコンのOSおよびアプリケーションは以下のとおりです。ご自身のPCの持ち込みはできません。
 - ①OS : Windows 10
 - ②アプリケーション : Power Point 2010～2019
 - ③スライドサイズは、標準(4:3)設定にしてください。
- 3) 発表データは、学会当日 USB メモリに保存してご持参ください。また、トラブルに備え発表データのバックアップCD-R、もしくはDVD-Rをご持参ください。ファイナライズを行っていないCD-R、もしくはDVD-Rについては作成したパソコン以外ではデータを開くことができませんのでご注意ください。
- 4) フォントはOS標準*のみご使用ください。
※ MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、
Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman
- 5) 作成されたデータは、作成したPC以外で事前に動作確認をしてください。
- 6) 発表データの保存ファイル名は、「演題番号-氏名-所属」としてください。
(例：O18-九州花男-〇〇病院)

- 7) メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトで事前にチェックをしてください。
- 8) お預かりしたデータは発表終了後、学会運営局が責任をもって消去いたします。

2. 口述発表の受付

- 1) 交流ラウンジにて、演者受付およびデータ確認を行い、提出してください。混雑することもあり、余裕をもって受付をお済ませください。

口述発表1～3セッションの発表者は12:00から13:30まで

口述発表4～5セッションの発表者は8:30から9:15まで

優秀演題、口述発表6～8セッションの発表者は9:45から10:45までをお願いします。

- 2) 発表者受付の際に、(一社)日本作業療法士協会生涯教育ポイントシールの発表分をお渡しします。

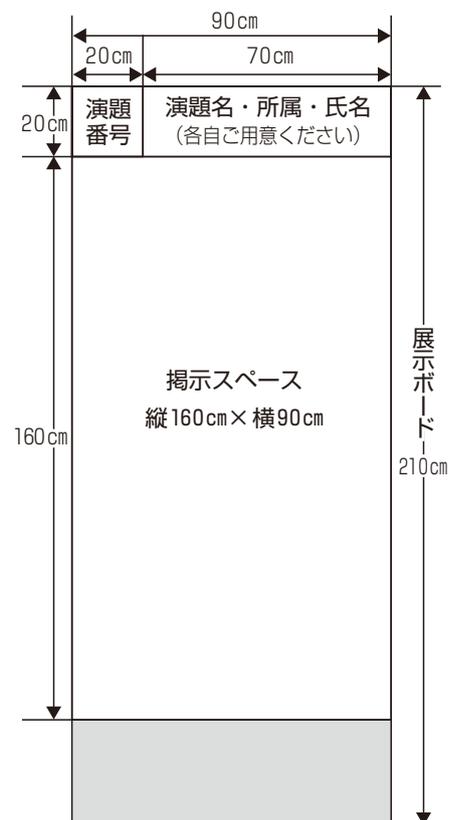
3. 口述発表方法

- 1) 発表するセッションの10分前には「次演者席」に着席してください。
- 2) 発表および質疑応答は座長の指示に従ってください。
- 3) 発表は全てPower PointによるPCプレゼンテーションです。
- 4) 発表は、舞台上にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用してご自身で操作してください。
- 5) 演題発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。発表終了1分前と終了時に合図をします。時間遵守にご協力ください。
- 6) 優秀演題発表に選出された方は発表時間10分で、質疑応答はございません。

【ポスター発表】

1. ポスターの掲示・撤去方法

- 1) ポスターの貼り付け
 - 6月22日(土) 9:00～11:00
 - 6月23日(日) 9:00～10:00
- 2) 学会では、以下のものをご用意いたします。
 - ・ 掲示パネル
 - ・ 演題番号：掲示パネルの左上部に演題番号を取り付け表示します。
 - ・ 画鋏：ポスターを貼り付けるための画鋏・ピン・セロテープをご用意いたします。
- 3) ポスターフォームは、右図を参照し、演題名・所属・氏名、本文を作成してください。なお、文字サイズ、フォントの種類、図表・写真などの枚数は特に定めませんが、必ず指定のサイズ内に収まるよう作成してください。



4) ポスターの撤去

6月22日(土) 17:00～18:00

6月23日(日) 13:00～14:00

上記指定時間以降も掲示されているポスターは、学会運営局にて処分いたします。

2. ポスター発表の方法

- 1) 1F メインエントランスホールのポスター受付にお越しください。
- 2) 発表者はポスターフラッシュトーク開始10分前までにイベントホールにお越しください。
- 3) ポスターセッションに先立ち、イベントホールステージ上で60秒程度のフラッシュトーク^{*}を行います。演題名および所属、氏名が記載されたスライドは学会側で準備します。
※ポスターセッションに先立ち、演題の主張やセールスポイントについてスライドを用いず簡潔に口頭でアピールするセッションです。発表者には報告内容を宣伝する機会、聴講者には興味深いポスター報告を容易に見つける手立てを提供することを目的とするものです。
- 4) 発表者は指定された時間内、ポスター前に立ち参加者とディスカッションしてください。
- 5) ポスター発表受付の際に、(一社)日本作業療法協会生涯教育ポイントシールの発表分をお渡しします。

優秀演題の表彰について

【審査対象】

本学会で採択された全ての演題を対象とします。

【審査方法】

一定の基準に基づいて学会準備委員会で厳正なる審議を行った後、学会長が最終的に決定いたします。

〈優秀演題表彰審査基準〉

- テーマや内容に創造性や独自性があり、作業療法の発展に貢献すると判断される。
- 作業療法の目的が適切であり、その目的が論理的プロセスを踏んで達成されている。
- 他の参加者が聞いて有効な発表内容である。
- 構成や表現などが優れている。

【発表・表彰】

受賞者の表彰は閉会式で行います。

九州作業療法士会会長会 MTDLP 企画

「生活行為向上マネジメントの成り立ちと今後」

～臨床実習での活用について、みんなで考えよう～

研修内容

生活行為向上マネジメント(以下、MTDLP)は、地域ケア会議や総合支援事業への参入などの広がりがあり、私たち作業療法士において活用できることが必要不可欠となっています。そして、今回新たに臨床実習においても MTDLP が項目として位置づけられています。

そこで、MTDLP の成り立ちを振り返り、MTDLP を活用していく必要性を再認識し、今後の臨床実習における養成校や現場での指導者それぞれの立場から MTDLP 活用についての必要性や課題などについて話していただきます。また、グループディスカッションを通して問題点を浮き彫りにし、改善に向けての情報共有を行いたいと考えています。

タイムスケジュール

11:15～12:15 MTDLP の成り立ち

講師：有限会社なるぞ 谷川 真澄

12:30～13:45 MTDLP を活用した臨床実習の取り組み(ランチミーティング)

(養成校側) 講師：国際医療福祉大学 長谷 麻由

(実習指導者側) 講師：にしくまもと病院 青山 和美

司会：大村市福祉保健部長寿介護課 地域包括支援センター 村木 敏子

※昼食を各自準備していただき、食べながらグループディスカッションを行います。



谷川 真澄

有限会社なるぞ
代表取締役社長

MTDLP 推進プロジェクト
特設委員会 委員長



長谷 麻由

国際医療福祉大学
MTDLP 指導者



青山 和美

にしくまもと病院
MTDLP 指導者

ライブペイントのご案内

医療法人 清明会
障害福祉サービス事業所 就労継続支援 B 型

PICFA

利用者の創作活動が

「アート」だけではなく、

「人生」にも広がるように。

第一回九州作業療法学会にライブペイントを行います！



天神地下街「てんちかサーカス」2018.12.9 福岡市
東京オリンピックキャラクターデザイン谷口亮氏とのコラボライブペイント

第一回九州作業療法学会 ライブペイント

九州作業療法学会 × PICFA コラボ企画にて、
学会中、イベントホールにてライブペイントを実施します。
ライブペイントとは、即興で絵を描き上げていくアートパフォーマンスです。
是非、迫力のあるパフォーマンスを休憩時間などで、楽しみ下さい。

日 時：2019/6/22

時 間：11:00～16:00

場 所：イベントホール(1F)ステージ上

※当日、PICFA アートグッズの物販もあります。

三百五十年続く、医療法人清明会 きやま鹿毛医院内にオープンした PICFA。

知的障害や自閉症、ダウン症などの「障害のある人たち」が創作活動を「仕事」にしている。

絵画やデザイン、オリジナルグッズ制作、またイベント企画や実施などの活動を行っている

P **PICTURE + WELFARE**
PICFA (絵画) (福祉)

PICFA では、「できない」ではなく、「これができる」という考え方を大切にしています。

障害者の障害は特性であって、「障害者そのもの=障害者の個性」ではありません。

PICFA は、メンバーひとりひとりの個性が活かせる「その人らしさの支援」をしています。

PICFA は、メンバーが「社会的な存在」になるための「場」になります。

PICFA メンバーの「個性」は、アート作品の創作活動を通して表現され、施設の外に発信されます。

メンバーの活動は、様々な人々と友情や関係性を育み、施設の中や家庭の中にとどまらない

「社会的な存在」になっていきます。

PICFA Members



PICFA では、ノベルティ制作やデザイン・イベント企画や実施などのお問い合わせをお待ちしております。

障害のある方で、
絵を描くことやものづくりなどの創作活動が好きな方など
興味のある方を募集しております。

お気軽にご連絡下さい。

PICFA

〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦 399 番地 1
きやま鹿毛医院内 (JR 基山駅より徒歩 5 分)
TEL 0942-92-2650 担当：原田・升本

作業療法学生プレゼン企画

本学会では私たちに関わるすべての人に“輝き続けて欲しい”と願いを込め、「Stay Gold」をテーマとして掲げています。併せて作業療法士を目指す学生が思い描いた「輝く作業療法」について発信して頂きたいと考えています。

本学会は各九州の作業療法県士会の会員が参加対象ですが、本企画では将来の会員を見据えた形で以下の目的で参加の機会を提供しています。

①学生の成長

学生の期間は学ぶ場(インプットする)が多いが発信する機会は少ないのが現状です。学会で7分間発表するという課題に向けたアクティブラーニングの機会にもなり、学生のうちに発表の経験を積むことで学会や研修会への参加姿勢が向上することが期待できます。

②将来の仲間とつながる

将来の作業療法士として他の学生とのつながりや作業療法士との出会いの機会を提供できると考えています。また将来の各県士会とのつながりにもなると考えています。学生企画の募集要綱を以下に記しています。

【テーマ】

作業療法学生が描いた輝く作業療法 ～こんな作業療法士は魅力的だ～

【発表内容】

研究発表・事例検討、実習で学んだこと

その他：例) 自助具の開発、地域での社会貢献活動、作業療法を使ってこんな仕事をしてみたい等

【発表スケジュール】

2019年6月22日 12:45～13:45

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 国際医療福祉大学 | 古川 優貴、笠 柊香、宮崎 ほのか、持丸 里穂、金城 駿斗 |
| 2. 専門学校麻生リハビリテーション大学校(夜間部) | 酒井 結、河津 優希、石井 綾美、佐土 悠莉菜、山之内 理紗 |
| 3. 専門学校麻生リハビリテーション大学校(昼間部) | 秦 真季子、大淵 遥花、梯 夏子、樽本 早希子、渡邊 未来 |
| 4. 福岡和白リハビリテーション学院 | 保科 真人、井上 海太、中野 太貴、中嶋 良太、宮前 新大 |
| 5. 福岡和白リハビリテーション学院 | 桑原 潤、川崎 亮介、原田 蓮、劔持 治貴、佐々野 葉月 |
| 6. 北九州リハビリテーション学院 | (代表者未定) |

2019年6月23日 12:45～13:45

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 九州栄養福祉大学 | 浮田 柚花 |
| 2. 専門学校久留米リハビリテーション学院 | 岩村 宇能、弓削 慶豊、中村 友香、小島 明日香 |
| 3. 小倉リハビリテーション学院 | 松岡 陽菜 |
| 4. 帝京大学福岡医療技術学部 | 澤田 孟志、中屋 公汰、大木 翔馬 |

※先頭記載の学生が代表者となります。

日 程 表

1日目 2019年6月22日(土) 北九州国際会議場

| | 第1会場 メインホール | 第2会場 国際会議室 | 第3会場 21会議室 | 第4会場 22会議室 | ポスター会場 11会議室 | イベント企画 イベントホール | 企業展示 書籍販売 イベントホール |
|-------------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| 9:00 | | | | | 9:00 ～ 11:00 | | |
| 10:00 | | | | | ポスター貼付 | | |
| 10:30～11:00 | 開 会 式 | | | | | | |
| 11:00 | | | | | 11:00 ～ 16:15 | | |
| 11:15～12:30 | 学術講演 作業療法士に期待される役割と課題 -地域包括ケアシステムの深化に向けて- 講師：川越 雅弘 | | 11:15～13:45 MTDLP 企画 ステージ企画 | | ポスター閲覧 | 11:15～12:00 ポスター フラッシュ トーク | |
| 12:00 | | | | | | 12:00～12:30 出展企業 プレゼン | |
| 13:00 | | 12:45～13:45 ランチョンセミナー 1 多様性のある地域社会と共生の原風景 講師：宮崎 宏興 | | 12:00～12:30 ポスターセッション (奇数) | ポスター閲覧 | 12:45～13:45 作業療法学生 プレゼン企画 | |
| 14:00 | 14:00～15:15 基調講演 日本作業療法士協会が描く未来予想 図 for2025 講師：中村 春基 | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | |
| 15:30～16:45 | 教育講演 1 OT みんなで輝こう ～輝きを女性 OT から～ 講師：宇田 薫 | 15:30～16:45 口述発表 1 脳血管疾患等 座長：光永 済 | 15:30～16:45 口述発表 2 脳血管疾患等 座長：中田 富久 | 15:30～16:45 口述発表 3 精神障害・ 認知障害 座長：渡 裕一 | | | |
| 16:00 | | | | | | | |
| 17:00 | 17:00～18:00 シンポジウム 講師：九州各県士会長 | 士会長に聞きたい OTが輝くためのQ&A ～2025年問題はもう古い!! 2040年とその先に向けた 一手を考える～ | | | 17:00 ～ ポスター 撤去 | | |
| 18:00 | | | | | | | |

2日目 2019年6月23日 北九州国際会議場

| | 第1会場 メインホール | 第2会場 国際会議室 | 第3会場 21会議室 | 第4会場 22会議室 | ポスター会場 11会議室 | イベント企画 イベントホール | 企業展示 書籍販売 イベントホール |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------|-------------------------|
| 9:00 | 9:00～10:00 モーニングセミナー 1 脳卒中対象者に対する活動分析アプローチ 講師：山本 伸一 | 9:00～10:00 モーニングセミナー 2 作業療法士に期待すること ～地域から、政治から～ 講師：中村 義雄 | | | 9:00～10:00 ポスター貼付 | | |
| 10:00 | 10:15～11:30 教育講演 2 Dementia Friendly Communityの創生 -地域共生に向けた作業療法士の役割- 講師：小川 敬之 | 10:15～11:30 教育講演 3 子どもの輝きを引き出すアセスメントの力 講師：辻 薫 | 10:15～11:30 口述発表 4 地域 座長：佐藤 暁 | 10:15～11:30 口述発表 5 認知障害 座長：上城 憲司 | 10:00～12:15 ポスター閲覧 | 10:15～11:00 ポスターフラッシュトーク | |
| 11:00 | 11:45～12:45 優秀演題発表 座長：濱本 孝弘 | 11:45～12:45 口述発表 6 脳血管疾患等・呼吸器疾患 座長：宮城 大介 | 11:45～12:45 口述発表 7 運動器疾患・発達障害 座長：油井 栄樹 | 11:45～12:45 口述発表 8 高齢期・MTDLP 座長：吉岡 美和 | ポスター閲覧 | 11:00～12:00 出展企業プレゼン | |
| 12:00 | | | | | | 11:00～11:30 ポスターセッション(偶数) | |
| 13:00 | | 13:00～14:00 ランチョンセミナー 2 作業療法士のための研究 講師：平賀 勇貴 | | | 13:00～ ポスター撤去 | 12:45～13:45 作業療法学生プレゼン企画 | |
| 14:00 | 14:15～15:30 市民公開講座 ユニークな子どものちからを伸ばす -AI・ロボット時代のリハビリや教育を考える- 講師：中邑 賢龍 | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | |
| 16:00 | 16:00～ 次期学会長挨拶 閉会式 | | | | | | |
| 17:00 | | | | | | | |

プログラム

学術講演 6月22日(土) 11:15～12:30

第1会場(メインホール)

司会者：原口 健三(西九州大学 リハビリテーション学部)

作業療法士に期待される役割と課題 —地域包括ケアシステムの深化に向けて—

川越 雅弘 公立大学法人埼玉県立大学 大学院保健医療福祉学研究科 兼 研究開発センター

基調講演 6月22日(土) 14:00～15:15

第1会場(メインホール)

司会者：竹中 祐二(専門学校 麻生リハビリテーション大学校)

日本作業療法士協会が描く未来予想図 for 2025

中村 春基 一般社団法人 日本作業療法士協会 会長

教育講演1 6月22日(土) 15:30～16:45

第1会場(メインホール)

司会者：宮本 香織(良創夢リハビリテーションセンター)

OT みんなで輝こう ～輝きを女性 OT から～

宇田 薫 おもと会 統括本部 訪問リハビリテーション科 科長専属

教育講演2 6月23日(日) 10:15～11:30

第1会場(メインホール)

司会者：平岡 敏幸(飯塚記念病院)

Dementia Friendly Community の創生 —地域共生に向けた作業療法士の役割—

小川 敬之 京都橘大学 健康科学部 作業療法学科

教育講演3 6月23日(日) 10:15～11:30

第2会場(国際会議室)

司会者：志井田 太一(北九州市立総合療育センター 西部分所)

子どもの輝きを引き出すアセスメントの力

辻 薫 大阪発達総合療育センター リハビリテーション部

モーニングセミナー1 6月23日(日) 9:00～10:00

第1会場(メインホール)

司会者: 松野 豊(国際医療福祉大学 福岡保健医療学部)

脳卒中対象者に対する活動分析アプローチ

山本 伸一 山梨リハビリテーション病院

モーニングセミナー2 6月23日(日) 9:00～10:00

第2会場(国際会議室)

司会者: 玉野 和男(松恒園通所リハビリテーション)

作業療法士に期待すること ～地域から、政治から～

中村 義雄 北九州市議会議員

ランチョンセミナー1 6月22日(土) 12:45～13:45

第2会場(国際会議室)

司会者: 柁井 剛士(らそうむ内科・リハビリテーションクリニック)

多様性のある地域社会と共生の原風景

宮崎 宏興 特定非営利活動法人いねいぶる 理事長
T-SIP(Tatsuno-social inclusion project) 代表

ランチョンセミナー2 6月23日(日) 13:00～14:00

第2会場(国際会議室)

司会者: 黒木 勝仁(原三信病院)

作業療法士のための研究

平賀 勇貴 福岡リハビリテーション病院

司会者：濱本 孝弘(医療福祉センター聖ヨゼフ園)

士会長に聞きたい OT が輝くための Q&A

～2025年問題はもう古い!! 2040年とその先に向けた一手を考える～

| | |
|--------|----------------|
| 竹中 祐二 | 福岡県作業療法協会 会長 |
| 沖 英一 | 長崎県作業療法士会 会長 |
| 内田 正剛 | 熊本県作業療法士会 会長 |
| 倉富 真 | 佐賀県作業療法士会 会長 |
| 竹田 寛 | 鹿児島県作業療法士協会 会長 |
| 高森 聖人 | 大分県作業療法協会 会長 |
| 津輪元 修一 | 宮崎県作業療法士会 会長 |
| 比嘉 靖 | 沖縄県作業療法士会 会長 |

司会者：佐藤 稔(株式会社シダー)

ユニークな子どものちからを伸ばす

—AI・ロボット時代のリハビリや教育を考える—

中邑 賢龍 東京大学 先端科学技術研究センター

抄 録

作業療法士に期待される役割と課題 —地域包括ケアシステムの深化に向けて—

川越 雅弘

公立大学法人埼玉県立大学 大学院保健医療福祉学研究所 兼 研究開発センター

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、団塊の世代が90代に入る2040年にかけて、85歳以上の高齢者(以下、超高齢者)が急増し、総人口の約1割に達すると見込まれている。

超高齢者は、他の年齢層に比べ、医療や介護、生活支援に対するニーズが高い。また、入院や死亡に対するリスクも高い。様々な環境の変化の影響も受けやすく、状態変化も来しやすい。生活上の課題も多領域にわたるため、単一職種だけでは課題が解決できないことも多い。これら特性、特徴を有する超高齢者が、住み慣れた地域で、安全かつ安心な生活を送るためには、医療・介護・生活支援サービスの包括的提供体制(=地域包括ケアシステム)の構築と多職種間の連携強化が必須となる。

ところで、地域包括ケアシステムは、1)医療(特に、入退院支援、在宅医療)、2)介護、3)生活支援、4)介護予防、5)住まいの5領域で構成されるが、各領域別の提供体制構築に加えて、各領域間の連携強化(医療職と介護職間の連携、病院と在宅関係者間の連携、医療と生活支援の連携など)やこれらサービス・支援を課題解決に結びつけるためのケアマネジメントの機能強化、保険者である市町村の地域マネジメント力の強化に向けた施策も展開されている。さらに、昨今では、共生社会の実現に向けた制度見直しも始まっている。

このように、地域包括ケアシステムに関する施策も、構築の段階から深化へ、さらには共生社会実現へと対象範囲が拡大しているが、これら施策動向の中で、リハビリテーション(以下、リハ)職に関係する主な課題としては、

- 1) 入退院支援への関与の強化(看護・退院調整部門との連携強化、病院と在宅のリハ職間の連携強化)
- 2) リハマネジメントの機能強化と多職種協働の推進(リハ計画の着実な遂行と目標達成力の強化)
- 3) ケアマネジメントプロセスの機能強化への貢献(地域ケア会議での適切な助言力の強化)
- 4) 介護予防事業への関与の強化(地域リハビリテーション活動支援事業の推進)
- 5) 地域づくりへの貢献(集いの場作りと運営支援)

の5点が挙げられる。

これら5つの課題に対し、作業療法士に共通して求められるのが「課題解決力(=マネジメント力)」である。マネジメントを適切に展開するためには、

- 1) 対象者の個人因子、状態像(生活機能+健康状態)、環境因子を総合的に捉える力
- 2) 生活課題を生じさせている要因を多面的に分析する力
- 3) 他職種の特徴及び地域資源を把握した上で、役割分担のもと、効果的な介入方法を選択・実践できる力
- 4) 1)～3)の構成を論理的にわかりやすく他者に説明できる力

などが必要となる。こうしたマネジメント力を身につければ、どのようなステージのどのような対

象者に対してでも、その人らしい生き方を支える支援が展開できるであろう。

本講演では、まず、地域包括ケアや多職種協働、マネジメント力の強化が求められる背景について、人口動態及びニーズの視点から解説する。次に、地域包括ケア構築に向けた主な施策の動向（リハ関連）を解説する。最後に、対象者像や制度が変化するなか、作業療法士に期待されている役割と課題について私見を述べる。



略 歴

1985年3月 大阪大学工学部 応用物理学科 卒業
1987年3月 大阪大学大学院工学研究科前期課程 応用物理学専攻 修了
2012年2月 広島大学大学院保健学研究科博士課程 後期保健学専攻 修了
1987年4月～ 川崎製鉄株式会社
1990年8月～ 帝人株式会社
1997年1月～ 株式会社経営総合研究所
1998年4月～ 日本医師会総合政策研究機構 主任研究員(2000年4月～主席研究員)
2005年11月～ 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部 室長
2014年4月～ 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障基礎理論研究部 部長
2017年4月～ 公立大学法人埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科
兼 研究開発センター教授
現在に至る

一般演題 プログラム

一般演題（口述発表）

優秀演題発表 6月23日（日） 11:45～12:45

第1会場（メインホール）

座長：濱本 孝弘（医療福祉センター聖ヨゼフ園）

- O-01** 脳卒中片麻痺上肢の痙縮筋に対してパンケーキ型継手式手関節装具を用いた振動刺激療法と課題指向型練習を併用した上肢集中アプローチの試み
菅原 歩美 医療法人社団寿量会 熊本機能病院 総合リハビリテーション部 作業療法課
- O-02** 当院の自動車運転支援における神経心理学的検査の基準値設定とその検証
有田 祐典 医療法人 桜十字病院
- O-03** 重症心身障害児に影響を与える環境因子を評価するための24時間ビデオ撮影法の有効性とその取り組みの事例報告
西島 和秀 社会福祉法人慈愛会 医療福祉センター聖ヨゼフ園
- O-04** 入退院を繰り返し自己効力感が低下した症例に対する在宅復帰に向けた作業療法介入
福井 綾 医療法人博愛会 介護老人保健施設 博愛苑
- O-05** 認知症の人のデイサービス利用時に於けるシートベルト着脱動作とMMSE, BI との関連性について
山口 聖太 株式会社シンパクト ケアサポートメロン
- O-06** 地域健康高齢者における年齢階級別の主観的幸福感と作業参加の関連
木下 亮平 北九州リハビリテーション学院 作業療法学科, 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科

口述発表1 6月22日（土） 15:30～16:45

第2会場（国際会議室）

[脳血管疾患等]

座長：光永 済（長崎大学病院）

- O-07** 回復期脳卒中片麻痺患者において修正CI療法を行い積極的なTask practiceと問題解決技法が麻痺手の使用行動に効果的であった事例
内野 康一 医療法人社団寿量会 熊本機能病院 総合リハビリテーション部 作業療法課
- O-08** 維持期脳卒中患者に上肢ロボット療法とボツリヌス療法を併用し、4週間の介入で上肢機能の改善を認めた一例
飯田 茉優子 医療法人相生会 福岡みらい病院
- O-09** 脳血管障害患者の復職支援における職場連携と易疲労性への取り組み
新盛 春季 医療社団法人威光会 松岡病院
- O-10** 保育士として復職した脳卒中患者の一例
～就労に向けた心理的支援に焦点を当てた作業療法～
濱田 学 産業医科大学病院

第1回九州作業療法学会 組織図

| | 役 職 | 氏名(敬称略) | 勤 務 先 |
|-------------|--------------------------|--------------------|---------------------|
| 三 役 | 学 会 長 | 瀨本 孝弘 | 医療福祉センター聖ヨゼフ園 |
| | 副 学 会 長 | 竹中 祐二 | 専門学校 麻生リハビリテーション大学校 |
| | 実行委員長 | 有久 勝彦 | 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 |
| 学 術 局 | 学 術 局 長 | 安部 剛敏 | 専門学校 麻生リハビリテーション大学校 |
| | 副学術局長 | 古賀 昭彦 | 帝京大学福岡医療技術学部 |
| | 査読部長 | 中津留 正剛 | 産業医科大学病院 |
| | 編集部長 | 浜地 親穂子 | 福岡豊栄会病院 |
| | 企画部長 | 長 彰純 | 久留米リハビリテーション学院 |
| | 渉外部長 | 熊脇 章子 | 松岡病院 |
| | 運 営 局 | 運 営 局 長 | 田中 聡 |
| 副運営局長 | | 長城 晃一 | 北九州市小倉北区役所 |
| 懇親会・外周部 部長 | | 高崎 弘嗣 | 遠賀中間医師会おかがき病院 |
| 懇親会・外周部 副部長 | | 大島 昂士 | 小倉リハビリテーション病院 |
| 企業展示部 部長 | | 手嶋 正弘 | 北九州安部山公園病院 |
| 企業展示部 副部長 | | 本間 真琴 | つくし訪問看護ステーション |
| 受付クローク部 部長 | | 木下 亮平 | 北九州リハビリテーション学院 |
| 受付クローク部 副部長 | | 宮尾 京介 | 北九州リハビリテーション学院 |
| 会場運営部 部長 | | 浅田 大輔 | 遠賀中間医師会おかがき病院 |
| 会場運営部 副部長 | | 吉原 直貴 | 新王子病院 |
| 会場運営部 部員 | | 須崎 優介 | 東筑病院 |
| | | 加藤 進一 | 新王子病院 |
| | | 澤井 洋介 | 遠賀中間医師会おかがき病院 |
| | | 北 将和 | 新行橋病院 |
| | | 尾形 拓哉 | 芳野病院 |
| 平賀 美咲 | | 大原病院 | |
| 事 務 局 | 事 務 局 長 | 鐘ヶ江 秀俊 | ひなた家 |
| | 副事務局長 | 田邊 慎一 | 製鉄記念八幡病院 |
| | | 藤崎 実知子 | 自宅 |
| | 事務局部員 | 宮本 香織 | 良創夢 リハビリテーションセンター |
| | | 平岡 敏幸 | 飯塚記念病院 |
| | | 松永 裕也 | 介護老人保健施設 けやき |
| | | 立野 美奈 | 重度障がい児者通所施設 チェリッシュ |
| | 広 報 部 長 | 許山 勝弘 | 福岡リハビリテーション病院 |
| | 広 報 部 員 | 黒木 清孝 | 福岡リハビリテーション病院 |
| | | 吉田 裕作 | 福岡リハビリテーション病院 |
| | | 水崎 裕子 | 福岡リハビリテーション病院 |
| | | 新藤 浩 | 今津赤十字病院 |
| | | 川崎 玲美 | 今津赤十字病院 |
| | | 永石 周太郎 | 今津赤十字病院 |
| | | 古場 友貴 | 誠愛リハビリテーション病院 |
| | | 美原 伸忠 | 誠愛リハビリテーション病院 |
| 橋下 美貴 | | 誠愛リハビリテーション病院 | |
| 平木 優里菜 | (株)アルサーージュ早稲田イーライフ福岡ドーム南 | | |
| (相談役) | 志井田 太一 | 北九州市立総合療育センター 西部分所 | |
| | 中川 昇 | ひなた家 | |

協賛・広告企業一覧(順不同)

株式会社 インボディ・ジャパン
オージー技研株式会社
株式会社 ユニコーン
テクノツール株式会社
インターリハ株式会社
帝人ファーマ株式会社
本田技研工業株式会社
株式会社 クレアクト
創造館 クリエイティブハウス
有限会社 フジコン九州
ナルセ機材有限会社
株式会社 九州神陵文庫
国際医療福祉大学大学院
専門学校 麻生リハビリテーション大学校
株式会社 ビッグ・リバー
医療法人 夢結 らそうむ内科・リハビリテーションクリニック
有限会社 中武義肢製作所
株式会社 きさく工房
福岡医健・スポーツ専門学校
株式会社 TASUKI リハビリサービス
株式会社 有菌製作所
有限会社 みやくほ義肢製作所
小倉リハビリテーション学院
福岡和白リハビリテーション学院
株式会社 リライブ
有限会社 いきいきリハビリケア
療養介護事業所 ひなた家
パラマウントベッド株式会社

後援団体一覧(順不同)

北九州商工会議所

北九州市教育委員会(北九州市役所内 教育委員会総務課)

一般社団法人 日本作業療法士協会

公益社団法人 福岡県医師会

公益社団法人 北九州市医師会

一般社団法人 福岡県歯科医師会

公益社団法人 福岡県薬剤師会

公益社団法人 福岡県看護協会

公益社団法人 福岡県理学療法士会

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会

一般社団法人 福岡県精神科病院協会

公益社団法人 福岡県栄養士会

公益社団法人 福岡県診療放射線技師会

公益社団法人 福岡県社会福祉士会

公益社団法人 福岡県介護福祉士会

一般社団法人 福岡県医療ソーシャルワーカー協会

公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会

一般社団法人 福岡県精神保健福祉士協会

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

公益社団法人 福岡県介護老人保健施設協会

公益社団法人 福岡県病院協会

編集後記

皆様へ第1回九州作業療法学会学会誌をお届けいたします。

さて、九州理学療法士・作業療法士合同学会が昨年の沖縄学会を最後に40年の歴史に幕を閉じました。リハビリテーションのチーム協働の理念を引き継ぎながらも、それぞれの専門性を高めていくための発展的解散をみたことは新たなステップへの自然の流れであったと思います。奇しくも同時期、作業療法の定義が33年ぶりに改訂されたことは、何のための、誰のための作業療法なのかを再確認させるものです。

今学会のテーマは、Stay Gold～作業療法士が描く未来予想図 for 2025～です。昨年は診療報酬と介護報酬の同時改定と共に第7次医療計画、第7期介護保険事業計画がスタートしました。6年後に迫る2025年を前にした地域包括ケアシステムの深化・推進が一気に進む様相です。今学会では、激変する社会環境の中で医療のパラダイムシフトにいかに対応し、さらには2025年以降の作業療法、リハビリテーションのあるべき姿について活発な議論や意見交換ができる場をご提供できれば幸いです。

学会実行委員会では、第1回という意気込みもあり盛りだくさんのアイデアの修正・変更がありました。また、大きく上回る演題のご応募をいただきましたこと等で、何度か予算を組みなおしました。嬉しくも大変な2年間でした。

終わりに、共催をいただいた北九州市様をはじめ、ご後援いただきました団体・法人の皆様に謹んで感謝を申し上げます。今後も九州作業療法学会は専門性の追求と地域医療の推進に向けて、他職種の方との連携を深め、協業しつつ地域の皆様のお役に立つコンテンツを企画・発信していく所存です。九州理学療法士・作業療法士合同学会に引き続き倍旧のご愛顧とご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2019年3月28日

第1回九州作業療法学会準備委員会

〈次期開催予定〉

九州作業療法学会 2020 in 長崎

会 期：2020年6月20日(土)・21日(日)

会 場：長崎ブリックホール
(〒852-8104 長崎県長崎市茂里町2-38)

学会長：沖 英一(医療法人和仁会 和仁会病院)

主 催：九州作業療法士会長会

第1回九州作業療法学会

発行者：九州作業療法士会長会

事務局：公益社団法人 福岡県作業療法協会事務所
〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本1丁目9-1
ONE OFF 第2ビル101号
TEL：093-952-7587 FAX：093-953-6287
E-mail：fuku-ota@fancy.ocn.ne.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>



第1回 九州作業療法学会 事務局

公益社団法人 福岡県作業療法協会事務所

〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本1丁目9-1

ONE OFF 第2ビル101号

TEL: 093-952-7587

FAX: 093-953-6287

E-mail: fuku-ota@fancy.ocn.ne.jp